特別企画：第6回栃木県内企業のメインバンク実態調査

足利銀行が6年連続でトップ

～足利、栃木の地元2行の占有率は71.0%

はじめに

今年11月に足利銀行と常陽銀行の経営統合が発表され、「金融再編」の動きが加速する状況に注目が集まっている。とりわけ県内企業にとっては、栃木県内の47.2%の企業がメインバンクと認識（当調査で判明）している足利銀行が、今後どのような施策を打ち出すのかについては、高い関心が寄せられている。メインバンクと企業との関係性は、業績を維持するための重要なファクターとなっている。

帝国データバンク宇都宮支店は、2015年10月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている企業（146万社）から、栃木県内の企業（2万1965社）がメインバンクと認識している金融機関について集計・分析するとともに、足利、常陽両行の取引実態についてもまとめた。

なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。栃木県内においての同調査は前回2014年12月16日に続き6回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した

調査結果(要旨)

1. 県内各企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは足利銀行で、10,368社となり構成比47.2%と他の金融機関に比べて圧倒的に高い比率を占めている。
2. 2位は栃木銀行で5,227社、構成比23.8%、3位は群馬銀行で856社、構成比3.9%となった。以下、足利小山信金が4位（668社）、栃木信金が5位（640社）と続いている。
3. 足利、栃木2行のみで、構成比の合計は71.0%。前年調査と同率を維持した。
4. 業種別では、全ての業種にて1位・足利銀行、2位・栃木銀行となった。
5. 売上規模別では、全ての規模で足利銀行が1位であった。しかし、50億円以上ではみずほ銀行が2位、三菱東京UFJ銀行4位、三井住友銀行5位とメガバンクが入っている。

1. 足利銀行が6年連続でトップ、栃木銀行が2位、群馬銀行が3位と上位に変化なし

栃木県内企業がメインバンクとして認識している上位20行は表1の通り。1位は足利銀行で10,368社、構成比47.2%（前回47.4%）となり、調査開始以来6年連続でトップとなった。2位は栃木銀行の5,227社、同23.8%（同23.6%）となり、前回同様に地元地銀2行で1、2位を独占、この2行の構成比の合計は71.0%と占有率は前年と同値を維持した。3位は県外から群馬銀行がランクインしたが、856社（同3.9%）と依然として地元地銀との差は大きい。

4位以下には信用金庫が入り、4位足利小山信金、5位栃木信金、6位鹿沼相互信金と続いた。シェアアップした金融機関は、栃木銀行が0.2%アップ、以下群馬銀行、栃木信金、りそな銀行、東和銀行、三菱東京UFJ銀行が、それぞれ0.1%上昇した。なお、上位20位の顔ぶれに変化は見られなかった。

表1(上位20行)

順位	金融機関名	本店所在地	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
			社数	シェア		社数	シェア
1	足利	宇都宮市	10,368	47.2%	▲ 0.2	10,256	47.4%
2	栃木	宇都宮市	5,227	23.8%	0.2	5,099	23.6%
3	群馬	前橋市	856	3.9%	0.1	825	3.8%
4	足利小山信金	足利市	668	3.0%	▲ 0.1	663	3.1%
5	栃木信金	栃木市	640	2.9%	0.1	616	2.8%
6(5)	鹿沼相互信金	栃木市	623	2.8%	0.0	616	2.8%
7	みずほ	東京都	483	2.2%	▲ 0.1	496	2.3%
8	烏山信金	那須烏山市	432	2.0%	0.0	422	2.0%
9	常陽	水戸市	374	1.7%	0.0	361	1.7%
10	大田原信金	大田原市	249	1.1%	▲ 0.1	250	1.2%
11	那須信組	那須塩原市	232	1.1%	0.0	234	1.1%
12	筑波	茨城県	228	1.0%	▲ 0.1	232	1.1%
13	佐野信金	佐野市	199	0.9%	0.0	188	0.9%
14	真岡信組	真岡市	136	0.6%	0.0	130	0.6%
15	りそな	大阪府	116	0.6%	0.1	115	0.5%
16	三井住友	東京都	111	0.5%	0.0	106	0.5%
17	東和	前橋市	89	0.5%	0.1	87	0.4%
18	三菱東京UFJ	東京都	70	0.4%	0.1	70	0.3%
19	商工中金	東京都	68	0.3%	0.0	69	0.3%
20	東邦	福島市	65	0.3%	0.0	68	0.3%

2015年 栃木県合計社数： 21,965

2014年 栃木県合計社数： 21,615

カッコ内は2014年調査の順位

2. 業種別 ～全ての業種で足利銀行が1位、栃木銀行が2位を維持

主要業種別の上位10行は表2の通り。

業種別では、すべての業種において前回調査と同様に1位は足利銀行、2位は栃木銀行であった。3位は群馬県の第一地銀である群馬銀行が「建設」、「製造」、「卸売」、「運輸・通信」の4業種でランクイン。信金として県内トップの資金量を有する足利小山信金が「小売」で3位にくい込んだ。栃木信金は「サービス」で足利小山信金を凌駕して3位となった。「不動産」については、メガバンクのみずほ銀行が3位となった。県内基幹産業の「建設」を見ると、4位に鹿沼相互信金、5位には栃木信金、6位に足利小山信金と地元の金融機関の健闘が目立つ。また、企業数が2番目に多かった「サービス」については、5位に群馬銀行、7位に常陽銀行が入り県外企業の健闘が見られた。また、メガバンクのみずほ銀行が「卸売」では4位に、「製造」で5位に入っている点は特徴的であろう。

また、シェアアップという視点で見ると、「建設」における足利銀行の1.1%増加、栃木銀行の0.8%増加が注目する点である。また、「運輸・通信」「サービス」「不動産」の3業種で栃木銀行が各々0.5%シェアアップさせている点も目立った。

3. 売上規模別 ～全ての規模で足利銀行が1位、「50億円以上」ではみずほ銀行が2位

融資先の売上規模別の上位10行は表3の通り。

前回調査時同様に足利銀行がすべての売上規模区分で1位となった。2位については栃木銀行が50億円未満の売上規模5区分でランクインしたが、「50億円以上」の売上げ規模ではメガバンクのみずほ銀行が入った。3位については、「5000万円以上1億円未満」、「1億円以上5億円未満」、「5億円以上10億円未満」、「10億円以上50億円未満」の4区分で群馬銀行が入った。「5000万円未満」においての3位は足利小山信金、「50億円以上」の3位は栃木銀行という結果になった。なお、「年商50億円以上」では三菱東京UFJ銀行が4位、三井住友銀行が5位に入り、3大メガバンクが上位5位内にランクインしており、事業規模が大きくなるに連れ、メガバンクとの取引を選ぶ傾向も顕著にあらわれていると云える。

シェアアップについては、「5億円以上10億円未満」の群馬銀行が0.7%アップ、また「5,000万円以上1億円未満」の栃木銀行が0.7%アップした。また、「5,000万円未満」の栃木銀行、「5,000万円以上1億円未満」の群馬銀行、「10億円以上50億円未満」の足利銀行、常陽銀行が各々0.3%シェアアップしている事が分かった。

表2(業種別上位10行)

建設

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	3,288	48.6%	1.1	3,208	47.5%
2	栃木	1,716	25.4%	0.8	1,661	24.6%
3	群馬	242	3.6%	0.2	233	3.4%
4	鹿沼相互信金	221	3.3%	0.1	219	3.2%
5	栃木信金	201	3.0%	0.1	194	2.9%
6	足利小山信金	197	2.9%	0.0	193	2.9%
7	烏山信金	175	2.6%	0.1	166	2.5%
8	常陽	113	1.7%	0.1	108	1.6%
9	那須信組	90	1.3%	0.0	89	1.3%
10	みずほ	78	1.2%	0.0	83	1.2%
合計		6,760			6,568	

卸売

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	982	45.4%	0.3	991	45.1%
2	栃木	529	24.4%	0.0	537	24.4%
3	群馬	119	5.5%	▲0.1	122	5.6%
4	みずほ	98	4.5%	0.1	97	4.4%
5(6)	足利小山信金	55	2.5%	▲0.1	56	2.6%
5(7)	鹿沼相互信金	55	2.5%	0.0	54	2.5%
7(5)	栃木信金	54	2.5%	0.0	58	2.5%
8	常陽	36	1.7%	0.1	35	1.6%
9	大田原信金	27	1.2%	▲0.1	29	1.3%
10	筑波	25	1.2%	▲0.1	28	1.3%
合計		2,165			2,198	

運輸・通信

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	312	43.6%	▲1.4	316	45.0%
2	栃木	182	25.5%	0.5	176	25.0%
3	群馬	45	6.3%	▲0.1	45	6.4%
4	鹿沼相互信金	21	2.9%	0.2	19	2.7%
5	栃木信金	19	2.7%	0.4	16	2.3%
6	足利小山信金	15	2.1%	0.3	13	1.8%
7(6)	佐野信金	13	1.8%	0.0	13	1.8%
8(6)	烏山信金	12	1.7%	▲0.1	13	1.8%
9	筑波	11	1.5%	▲0.1	11	1.6%
9(10)	みずほ	11	1.5%	0.1	10	1.4%
合計		715			703	

不動産

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	546	49.6%	▲0.5	537	50.1%
2	栃木	260	23.6%	0.5	248	23.1%
3	みずほ	29	2.6%	▲0.2	30	2.8%
4	足利小山信金	27	2.5%	0.0	27	2.5%
5	群馬	26	2.4%	0.3	22	2.1%
6(5)	鹿沼相互信金	22	2.0%	▲0.1	22	2.1%
6(7)	烏山信金	22	2.0%	0.0	21	2.0%
8	栃木信金	18	1.6%	0.1	16	1.5%
9	常陽	14	1.3%	0.1	13	1.2%
10(9)	筑波	13	1.2%	0.0	13	1.2%
合計		1,101			1,072	

製造

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	1,228	41.1%	0.0	1,199	41.1%
2	栃木	623	20.9%	0.2	605	20.7%
3	群馬	191	6.4%	0.0	186	6.4%
4	足利小山信金	131	4.4%	0.0	128	4.4%
5	鹿沼相互信金	123	4.1%	0.0	119	4.1%
5	みずほ	116	3.9%	▲0.2	119	4.1%
7	栃木信金	92	3.1%	0.1	89	3.0%
8	常陽	64	2.1%	0.0	61	2.1%
9	烏山信金	50	1.7%	0.0	49	1.7%
10	佐野信金	45	1.5%	0.1	41	1.4%
合計		2,987			2,919	

小売

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	1,476	45.2%	▲0.1	1,481	45.3%
2	栃木	808	24.7%	0.1	806	24.6%
3	足利小山信金	118	3.6%	▲0.1	120	3.7%
4	栃木信金	115	3.5%	0.1	110	3.4%
5	群馬	101	3.1%	0.2	95	2.9%
6	鹿沼相互信金	87	2.7%	0.0	89	2.7%
7	烏山信金	71	2.2%	▲0.2	77	2.4%
8	みずほ	67	2.1%	0.0	68	2.1%
9	那須信組	62	1.9%	▲0.1	65	2.0%
10	大田原信金	58	1.8%	0.0	59	1.8%
合計		3,266			3,272	

サービス

順位	金融機関名	2015年		シェア増減	2014年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	2,308	51.4%	▲0.6	2,305	52.0%
2	栃木	1,023	22.8%	0.5	986	22.3%
3(4)	栃木信金	127	2.8%	0.0	120	2.8%
4(3)	足利小山信金	121	2.7%	0.0	123	2.7%
5	群馬	116	2.6%	0.1	109	2.5%
6	鹿沼相互信金	83	1.8%	▲0.1	83	1.9%
7(8)	常陽	81	1.8%	0.0	76	1.8%
8(7)	みずほ	76	1.7%	0.0	81	1.7%
9	烏山信金	71	1.6%	0.0	71	1.6%
10	大田原信金	44	1.0%	0.1	41	0.9%
合計		4,487			4,430	

表3(年商別上位10行)

5,000万円未満

順位	金融機関名	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	4204	47.3%	▲ 0.3	4155	47.6%
2	栃木	2138	24.0%	0.3	2070	23.7%
3	足利小山信金	337	3.8%	0.0	331	3.8%
4	鹿沼相互信金	289	3.2%	▲ 0.1	288	3.3%
5	栃木信金	274	3.1%	0.0	273	3.1%
6	群馬	266	3.0%	0.0	264	3.0%
7	烏山信金	208	2.3%	0.1	195	2.2%
8	みずほ	158	1.8%	0.0	157	1.8%
9	常陽	121	1.4%	0.0	123	1.4%
10	那須信組	117	1.3%	▲ 0.1	120	1.4%
合計		8,897			8,738	

5,000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	1921	46.2%	▲ 0.6	1939	46.8%
2	栃木	1088	26.2%	0.7	1056	25.5%
3	群馬	163	3.9%	0.3	148	3.6%
4(6)	栃木信金	138	3.3%	0.2	125	3.1%
5	鹿沼相互信金	122	2.9%	▲ 0.1	126	3.0%
6(4)	足利小山信金	125	3.0%	0.0	127	3.0%
7	烏山信金	82	2.0%	▲ 0.1	89	2.1%
8(9)	常陽	68	1.6%	▲ 0.3	62	1.9%
9(8)	みずほ	67	1.6%	0.1	78	1.5%
10	筑波	53	1.3%	0.0	54	1.3%
合計		4,158			4,144	

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	3118	47.8%	0.0	3072	47.8%
2	栃木	1592	24.4%	▲ 0.1	1574	24.5%
3	群馬	280	4.3%	0.0	277	4.3%
4	栃木信金	188	2.9%	0.2	176	2.7%
5	足利小山信金	174	2.7%	0.1	166	2.6%
6	鹿沼相互信金	167	2.6%	0.1	163	2.5%
7	みずほ	139	2.1%	0.0	138	2.1%
8	常陽	118	1.8%	0.0	114	1.8%
9	烏山信金	109	1.7%	0.0	109	1.7%
10	大田原信金	76	1.2%	0.0	76	1.2%
合計		6,525			6,432	

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	540	46.4%	▲ 0.5	522	46.9%
2	栃木	238	20.4%	▲ 0.3	230	20.7%
3	群馬	73	6.3%	0.7	62	5.6%
4(5)	常陽	34	2.9%	▲ 0.2	31	3.1%
5(7)	鹿沼相互信金	31	2.7%	▲ 0.1	24	2.8%
6(4)	みずほ	30	2.6%	0.2	34	2.4%
7(6)	足利小山信金	28	2.4%	0.2	27	2.2%
8(9)	烏山信金	26	2.2%	0.2	21	2.0%
9(8)	栃木信金	19	1.6%	▲ 0.3	22	1.9%
10(-)	筑波	7	0.6%	-	-	-
合計		1,165			1,112	

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	466	49.8%	0.3	458	49.5%
2	栃木	151	16.1%	▲ 0.1	150	16.2%
3	群馬	63	6.7%	▲ 0.2	64	6.9%
4	みずほ	62	6.6%	▲ 0.1	62	6.7%
5	常陽	28	3.0%	0.3	25	2.7%
6	三井住友	18	1.9%	0.2	16	1.7%
7	商工中金	16	1.7%	0.1	15	1.6%
8	三菱東京UFJ	14	1.5%	0.0	14	1.5%
8	栃木信金	14	1.5%	0.0	14	1.5%
8(-)	りそな	14	1.5%	-	-	-
合計		935			926	

50億円以上

順位	金融機関名	2015年社数		シェア増減	2014年社数	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	119	41.8%	0.0	110	41.8%
2	みずほ	27	9.5%	▲ 0.8	27	10.3%
3	栃木	20	7.0%	▲ 0.2	19	7.2%
4	三菱東京UFJ	15	5.3%	▲ 0.4	15	5.7%
5	三井住友	13	4.6%	▲ 0.3	13	4.9%
6(6)	群馬	11	3.9%	0.1	10	3.8%
7(6)	りそな	10	3.5%	▲ 0.3	10	3.8%
7(6)	農林中金	10	3.5%	▲ 0.3	10	3.8%
9	商工中金	7	2.5%	▲ 0.2	7	2.7%
9(-)	栃木信金	7	2.5%	-	-	-
合計		285			263	

4. 足利銀行と常陽銀行のシェア比

今回のメインバンク調査とは別に、足利銀行及び常陽銀行の県内における取引企業数と当社の調査により判明している範囲での融資実績の比率をまとめてみた。結果は表4の通りである。

これによれば、栃木県内において足利銀行と取引を認識（メインバンクだけでなく当座取引や振込手続きなども含む）している企業は、実に15,154社にもものぼる。弊社のデータベースが21,965

社収録しているなのでその占有率は68.9%、約7割を占めている事になる。これに対して常陽銀行は1,222社が取引している。両行のシェアは足利銀行92.5%に対し常陽銀行が7.5%であった。また、両行とも取引がある企業は925社に留まり、この内容を見る限りでは、足利銀行が圧倒的なシェアを持っている事が分かる。一方で融資実績をもとに両行の扱い比率を見てみると、足利銀行が89.0%、常陽銀行は11.0%となった。両行から融資を受けている企業が680社判明したが、今後両行が一体化する事により、例えば融資限度額の面で支障が出てくる可能性は否めないが、総体的に見れば大きな影響が出てくるほどの企業数とは云えないと判断する。

経営統合が発表されたものの、当面両行は別運営の期間が続く事になるので、早急に大きな変化が出るとは考えにくい。両行の動向をにらんだ他行の動向が活発化する事も考えられ、例えば金利をめぐる競合も経営者の間では大きな関心事となっているという事実もある。

表4

本社市郡	足利銀行			常陽銀行			総計	2行とも取引	2行から融資
	社数	シェア	借入金比率	社数	シェア	借入金比率		社数	社数
宇都宮市	4,125	92.0%	88.0%	357	8.0%	12.1%	4,482	302	250
足利市	1,087	99.5%	98.6%	5	0.5%	1.4%	1,092	5	6
栃木市	1,230	95.9%	86.2%	52	4.1%	13.9%	1,282	50	45
佐野市	940	98.1%	97.9%	18	1.9%	2.1%	958	17	17
鹿沼市	864	96.4%	96.5%	32	3.6%	3.5%	896	27	26
日光市	772	98.3%	94.5%	13	1.7%	5.5%	785	12	11
小山市	1,031	77.4%	73.7%	301	22.6%	26.3%	1,332	202	129
真岡市	559	66.4%	63.2%	283	33.6%	36.9%	842	185	105
大田原市	557	99.6%	99.6%	2	0.4%	0.4%	559	2	2
矢板市	237	98.8%	97.2%	3	1.3%	2.8%	240	2	2
那須塩原市	1,020	98.9%	93.4%	11	1.1%	6.6%	1,031	11	8
さくら市	331	96.8%	98.0%	11	3.2%	2.1%	342	10	8
那須烏山市	193	99.0%	100.0%	2	1.0%	0.0%	195	2	2
下野市	386	97.2%	95.9%	11	2.8%	4.2%	397	10	10
河内郡	212	93.0%	73.7%	16	7.0%	26.3%	228	14	14
芳賀郡	516	93.8%	87.9%	34	6.2%	12.1%	550	25	16
下都賀郡	432	87.6%	84.6%	61	12.4%	15.4%	493	40	24
塩谷郡	240	98.4%	95.4%	4	1.6%	4.6%	244	3	2
那須郡	422	98.6%	97.1%	6	1.4%	2.9%	428	6	3
	15,154	92.5%	89.0%	1,222	7.5%	11.0%	16,376	925	680

5. まとめ

今回で6回目を数えるメインバンク調査であるが、栃木県内においては足利銀行が47.2%でトップ、2位に23.8%の栃木銀行というシェアに大きな変化は見られず、2行の占有率は71.0%と前年と同率を維持した。また、群馬銀行をはじめとする県外金融機関の深耕も一部では見られるものの、足利小山信金、栃木信金など地元金融機関を県内中小企業は選んでいるという傾向も根強くあるようだ。

また、今回の経営統合を踏まえて、足利銀行、常陽銀行に特化した分析も行ったが、栃木県内での足利銀行のシェアは圧倒的で、融資実績で判断する限りでは両行がバッティングしているケースは限られていると云えよう。先に弊社が実施した「関東圏の金融3グループ（常陽・足利、コンコルディア、東京TY）の取引企業実態」の中でも、貸付残高は他の2グループの方が多いものの、取引企業数で見ると、常陽・足利グループが茨城、栃木だけでなく、群馬、埼玉、千葉、福島の各県においても圧倒的に多くその数は47,977社にのぼる事が判明しており、北関東広域での基盤形成が出来ているという評価ができる。

今後も金融再編に伴う様々な動きの中で、金利や融資限度額など影響を受ける企業も出てくる事は必至であろう。一方で国や地方自治体としても、中小企業の振興は大きな課題であり、それを支援していくメインバンクの存在はとて大きいものである。常陽・足利グループも含めた県内金融機関の動向にも注視しながら、今後も県内企業とメインバンクという関係性については注目していく必要がある。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク宇都宮支店 情報担当：古川哲也

TEL 028-636-0222 FAX 028-633-5639

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。